

「他者や地域に関心をもち、探究的に学ぶ児童の育成」
～教科「おおたの未来づくり」に向けて～

大田区立南六郷小学校
校 長 小沼 一実
研究主任 上野 広祐

1 研究の概要

令和7年度から、大田区では新教科「おおたの未来づくり科」が始まる。この教科は、実社会で活躍する様々な人と連携して、地域の社会や生活をよりよく豊かにするものや取組を創造することを目標としており、第5・6学年で実施することになっている。本校では、こどもたちや全教員が地域についてより理解を深めて、充実した授業を実施できるようにするために、「おおたの未来づくり科」を中心とした校内研究をすることに決めた。研究テーマは、「他者や地域に関心をもち、探究的に学ぶ児童の育成」と設定し、第5学年では「ものづくり」を、第6学年では「地域の創生」を中心に内容を構成し、令和6年度は総合的な学習の時間を活用して、研究授業を実施した。

2 研究の方法（年間計画）

1学期は研究計画を立て、2学期に授業を通して研究を深め、3学期に研究をまとめた。

	日程	内容
一学期	4・5月	研究全体計画の校内共有
	6月	水門通り商店街との打ち合わせ、第5・6学年の研究計画の立案
	7月	令和7年度に向けた研究計画を大田区教育委員会に提出 → 文部科学省提出に向けての最終確認
二学期	9月	第5学年研究授業 講師：出雲小学校校長 関真理子先生
	10月	校内講演会 講師：大田区教育委員会 江袋勇樹指導主事
	11月	第6学年研究授業 講師：大田区教育委員会 桑原宏一指導主事
三学期	1月・2月	研究紀要の作成 （今年度の研究の成果と課題をまとめ、改善案の作成）
	3月	次年度の研究の準備

3 研究の成果と今後の課題

成果としては、おおたの未来づくり科に関わる本校の児童の実態を把握し、令和7年度に向けた授業の土台を作ることができたことが大きい。全教員が協力して、おおたの未来づくりの単元計画シートを作成し、大田区教育委員会に提出のもと、文部科学省からの認可を得ることもできた。また、水門通り商店街の方からの願いを聞き、授業の方向性を考えたり、講師の先生方から指導をいただいたりできたことによって、多くの学びを得ることができた。教材研究を進めていくにあたり大切なことや地域をどのように活用して、よりよい授業を作ればよいかということを確認できた。

課題としては、研究授業の本数が少なかったことが挙げられる。教員一人一人の指導力向上に向けて研究授業の本数を増やし、全学年において研究授業をするとよいと考えられる。また、第1学年から第4学年までにおける「おおたの未来づくり科」の「創造的な資質・能力の素地を育成する視点」について考え、教科横断的指導計画を作成できたが、高学年を中心とした校内研究であったため、全学年の児童における課題の達成につながったかどうかは曖昧である。全学年に関連する校内研究を考えていく必要がある。